



平成30年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年3月9日

上場会社名 サムコ 株式会社

上場取引所 東

コード番号 6387 URL <https://www.samco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 辻 理

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 管理統括部長 (氏名) 竹之内 聡一郎

TEL 075-621-7841

四半期報告書提出予定日 平成30年3月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年7月期第2四半期の業績(平成29年8月1日～平成30年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年7月期第2四半期	2,053	19.4	77		72		48	
29年7月期第2四半期	1,719	41.2	84		15		14	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年7月期第2四半期	6.07	
29年7月期第2四半期	1.74	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年7月期第2四半期	10,760	7,933	73.7	987.58
29年7月期	10,127	8,000	79.0	995.95

(参考)自己資本 30年7月期第2四半期 7,933百万円 29年7月期 8,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年7月期		0.00		15.00	15.00
30年7月期		0.00			
30年7月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年7月期の業績予想(平成29年8月1日～平成30年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	63.2	610		600		425		52.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料] 9ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年7月期2Q	8,042,881 株	29年7月期	8,042,881 株
期末自己株式数	30年7月期2Q	9,495 株	29年7月期	9,395 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年7月期2Q	8,033,460 株	29年7月期2Q	8,033,600 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに拡大しております。世界経済は、米国と欧州の経済が堅調に推移したことに加え、新興国経済の緩やかな回復が継続し、着実な改善を続けております。

当社を取り巻く半導体等電子部品業界におきましては、世の中に存在する様々なモノがネットワークと繋がるIoT (Internet of Things) や人工知能 (AI) の進展により主にシリコンを材料とした半導体メモリーの需要が急増し、これに関連した設備投資が積極的に行われました。また、当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケット (注) においても、新たなモバイル機器や車載センサーなどの電子部品分野、あるいはMEMS (Micro Electro Mechanical Systems=微小電気機械素子) といった先端分野での研究開発投資が幅広い企業で進んでおり、その中から本格生産への移行も進んでおります。

このような状況の下、当第2四半期累計期間はオプトエレクトロニクス分野の通信用レーザーや面発光レーザー (VCSEL)、電子部品分野の高周波デバイス、パワーデバイス、MEMS、各種センサー等の生産設備案件において商談が具体化し、国内外の複数顧客からの受注が大幅に増加しており、受注環境は第1四半期に続き好調を維持しております。その結果、当第2四半期累計期間の受注高は3,863百万円 (前年同期比88.8%増) となり、当第2四半期会計期間末の受注残高は2,844百万円 (前年同期比172.3%増) となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高が2,053百万円 (前年同期比19.4%増)、営業利益は77百万円 (前年同期は営業損失84百万円)、経常利益は72百万円 (前年同期は経常損失15百万円)、四半期純利益は48百万円 (前年同期は四半期純損失14百万円) となりました。

(用途別売上高)

用途	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
オプトエレクトロニクス分野	749,261	36.5	148.1
電子部品分野	454,768	22.1	△28.8
シリコン分野	202,631	9.9	△0.9
実装・表面処理分野	260,481	12.7	157.7
表示デバイス分野	—	—	—
その他分野	77,000	3.7	△5.1
部品・メンテナンス	309,122	15.1	△20.2
合計	2,053,265	100.0	19.4

(注) 当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケット

半導体製造装置業界には、シリコン (Si=ケイ素) を材料とした半導体の製造装置を販売する企業は多く存在しますが、当社は化合物半導体や電子部品の製造装置を主力製品としております。シリコンを材料とした半導体は主にDRAM、フラッシュメモリーなどに用いられますが、当社の扱う化合物半導体はガリウムヒ素 (GaAs)、窒化ガリウム (GaN)、炭化シリコン (SiC) などを主体材料とし、シリコンに比べ高速信号処理に優れ、高電圧で動作したり、幅広い波長の光に反応したりと優れた特性を備えており、シリコンでは達成できない機能による用途・分野を日々開拓し、着実にその市場を拡大させております。現在、実用化されている主な用途・分野には、照明用 (青色LED) に加え車載用に需要が拡大している高輝度LEDや、通信用・小型プロジェクター向けに市場が拡大しているLD (オプトエレクトロニクス分野)、スマートフォンやタブレット型端末の普及で需要を牽引してきた高周波デバイス、省エネ対策として様々な研究開発が進んでいるパワーデバイスのほか、インクジェットプリンターヘッド、医療、ライフサイエンス、バイオなどで研究開発が進むMEMS (電子部品分野) などがあります。

化合物半導体製造装置の市場規模は、全半導体製造装置市場の10パーセント程度ではありますが、化合物半導体の加工は非常に困難であり、これを加工する半導体製造装置を製造するには高度な専門知識と技術の蓄積を要し、参入障壁の高い事業領域であります。当社は、創業以来この化合物半導体及び電子部品製造装置のマーケットに特化し、大学・官庁・研究機関などが主な販売先となる研究開発機市場に加えて、近年は電子部品メーカー・デバイスメーカー・情報通信機器メーカーなどの生産現場が主な販売先となる生産機市場に注力し、様々な電子機器に不可欠である高周波デバイス、キャパシタ、パワーユニットなどの電子部品市場での設備投資需要を取り込み、事業を展開しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 当第2四半期末の資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,096百万円で前事業年度末に比べ668百万円増加いたしました。現金及び預金が175百万円減少した一方、売掛金が864百万円増加したのが主な要因であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、3,663百万円で前事業年度末に比べ36百万円減少いたしました。機械及び装置が25百万円減少したのが主な要因であります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、2,042百万円で前事業年度末に比べ669百万円増加いたしました。前受金が350百万円、買掛金が272百万円増加したのが主な要因であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、783百万円で前事業年度末に比べ30百万円増加いたしました。退職給付引当金が13百万円、リース債務が9百万円増加したのが主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、7,933百万円で前事業年度末に比べ67百万円減少いたしました。これは、利益剰余金が71百万円減少したことなどによります。自己資本比率は73.7%と前事業年度末比5.3ポイント低下いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ180百万円減少し、2,738百万円(前事業年度末比6.2%減)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は36百万円(前年同期に得られた資金は133百万円)となりました。これは主に前受金の増加350百万円、仕入債務の増加272百万円、法人税等の還付額91百万円がプラスに寄与した一方、売上債権の増加772百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は11百万円(前年同期比91.4%減)となりました。定期預金の預入による支出が1,763百万円、有形固定資産の取得による支出が10百万円に対して、定期預金の払戻による収入が1,756百万円、貸付金の回収による収入が12百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は123百万円(前年同期比23.9%減)となりました。これは主に配当金の支払が120百万円であったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績の進捗及び市場環境等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成29年9月8日付の当社「平成29年7月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で発表いたしました平成30年7月期の通期の業績予想を修正しております。

詳細は本日(平成30年3月9日)に別途開示いたしました「第2四半期業績予想値と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,722,576	4,547,320
受取手形	117,588	25,594
売掛金	660,646	1,525,070
仕掛品	609,953	835,675
原材料及び貯蔵品	90,113	114,453
前払費用	7,930	9,217
繰延税金資産	73,490	73,490
未収消費税等	82,170	2,482
未収還付法人税等	99,184	—
その他	31,689	29,587
貸倒引当金	△67,510	△66,632
流動資産合計	6,427,832	7,096,259

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年1月31日)
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,038,714	1,040,220
減価償却累計額	△640,759	△657,359
建物(純額)	397,955	382,860
構築物	25,314	25,314
減価償却累計額	△23,913	△24,042
構築物(純額)	1,400	1,272
機械及び装置	735,204	738,418
減価償却累計額	△600,846	△629,551
機械及び装置(純額)	134,357	108,866
車両運搬具	48,869	48,869
減価償却累計額	△36,419	△38,562
車両運搬具(純額)	12,449	10,307
工具、器具及び備品	205,132	211,854
減価償却累計額	△175,743	△180,801
工具、器具及び備品(純額)	29,388	31,053
土地	2,530,836	2,530,836
リース資産	43,558	48,033
減価償却累計額	△29,417	△28,629
リース資産(純額)	14,141	19,404
建設仮勘定	6,608	265
有形固定資産合計	3,127,139	3,084,867
無形固定資産		
特許権	3,386	2,370
電話加入権	2,962	2,962
ソフトウェア	186	146
水道施設利用権	1,550	1,409
リース資産	—	7,863
無形固定資産合計	8,086	14,752
投資その他の資産		
投資有価証券	227,421	236,276
関係会社株式	101,884	101,884
出資金	5,000	5,000
関係会社長期貸付金	55,904	44,239
繰延税金資産	68,270	66,312
差入保証金	76,340	80,552
保険積立金	29,161	29,161
その他	870	772
投資その他の資産合計	564,852	564,200
固定資産合計	3,700,078	3,663,820
資産合計	10,127,911	10,760,080

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	341,567	613,663
短期借入金	800,000	800,000
リース債務	4,040	7,313
未払金	79,246	96,768
未払費用	29,904	31,326
未払法人税等	15,369	36,326
前受金	49,728	400,201
預り金	24,933	17,990
賞与引当金	19,300	24,800
製品保証引当金	9,400	12,400
その他	—	2,195
流動負債合計	1,373,490	2,042,986
固定負債		
リース債務	10,101	19,954
長期末払金	505	1,353
退職給付引当金	386,815	400,126
役員退職慰労引当金	356,039	362,045
固定負債合計	753,461	783,480
負債合計	2,126,951	2,826,467
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,663,687	1,663,687
資本剰余金		
資本準備金	2,079,487	2,079,487
資本剰余金合計	2,079,487	2,079,487
利益剰余金		
利益準備金	59,500	59,500
その他利益剰余金		
別途積立金	3,867,000	3,867,000
繰越利益剰余金	219,108	147,438
利益剰余金合計	4,145,608	4,073,938
自己株式	△10,580	△10,711
株主資本合計	7,878,202	7,806,401
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	122,756	127,211
評価・換算差額等合計	122,756	127,211
純資産合計	8,000,959	7,933,612
負債純資産合計	10,127,911	10,760,080

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)
売上高	1,719,738	2,053,265
売上原価	946,044	1,049,777
売上総利益	773,694	1,003,488
販売費及び一般管理費	858,238	926,017
営業利益又は営業損失(△)	△84,544	77,470
営業外収益		
受取利息	1,063	886
受取配当金	844	1,120
為替差益	66,468	—
雑収入	4,563	6,775
営業外収益合計	72,939	8,782
営業外費用		
支払利息	1,977	1,934
為替差損	—	11,819
雑損失	2,128	116
営業外費用合計	4,105	13,870
経常利益又は経常損失(△)	△15,710	72,382
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△15,710	72,382
法人税等	△1,692	23,550
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△14,017	48,831

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△15,710	72,382
減価償却費	44,630	57,599
受取利息及び受取配当金	△1,907	△2,007
支払利息	1,977	1,934
為替差損益 (△は益)	△56,549	8,766
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,719	△877
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△800	5,500
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,118	—
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△4,300	3,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,444	13,311
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,548	6,006
売上債権の増減額 (△は増加)	177,135	△772,431
たな卸資産の増減額 (△は増加)	48,723	△241,648
仕入債務の増減額 (△は減少)	24,104	272,096
前受金の増減額 (△は減少)	61,454	350,473
その他	△84,788	97,987
小計	201,563	△127,907
利息及び配当金の受取額	1,907	2,029
利息の支払額	△2,007	△1,916
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△68,351	91,397
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,111	△36,397
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,749,838	△1,763,104
定期預金の払戻による収入	1,743,541	1,756,734
有形固定資産の取得による支出	△133,993	△10,704
投資有価証券の取得による支出	△2,320	△2,442
貸付金の回収による収入	11,701	12,578
その他	△22	△4,270
投資活動によるキャッシュ・フロー	△130,931	△11,209
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△77	△130
配当金の支払額	△160,672	△120,502
その他	△2,020	△3,238
財務活動によるキャッシュ・フロー	△162,769	△123,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	46,661	△8,780
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△113,928	△180,259
現金及び現金同等物の期首残高	2,893,828	2,918,283
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,779,900	2,738,023

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の品目別及び地域別に記載しております。

① 生産実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前第2四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)		当第2四半期累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)		前事業年度 (自平成28年8月1日 至平成29年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
CVD装置	59,276	3.5	442,753	17.4	246,145	7.1
エッチング装置	1,007,512	59.3	1,506,002	59.3	1,905,233	55.3
洗浄装置	238,924	14.0	241,539	9.5	512,496	14.9
その他	394,277	23.2	350,195	13.8	780,572	22.7
合計	1,699,990	100.0	2,540,491	100.0	3,444,448	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前第2四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)		当第2四半期累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)		前事業年度 (自平成28年8月1日 至平成29年7月31日)	
	受注高	受注残	受注高	受注残	受注高	受注残
CVD装置	242,300	181,200	653,540	556,208	427,090	234,000
エッチング装置	1,156,235	596,176	2,482,940	1,888,864	1,825,317	611,435
洗浄装置	221,074	106,112	323,500	207,301	431,404	91,100
その他	427,263	161,243	403,760	192,118	757,261	97,480
合計	2,046,874	1,044,732	3,863,742	2,844,493	3,441,072	1,034,016

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前第2四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)		当第2四半期累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)		前事業年度 (自平成28年8月1日 至平成29年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
CVD装置	80,830	4.7	331,332	16.1	212,820	6.8
エッチング装置	1,030,549	59.9	1,205,511	58.7	1,684,372	53.9
洗浄装置	221,162	12.9	207,298	10.1	446,504	14.3
その他	387,196	22.5	309,122	15.1	780,956	25.0
合計	1,719,738	100.0	2,053,265	100.0	3,124,652	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な輸出地域、輸出販売高及び割合は次のとおりであります。

(単位：千円)

区 分 (地域別)	前第2四半期累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成29年8月1日 至 平成30年1月31日)		前事業年度 (自 平成28年8月1日 至 平成29年7月31日)	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
アジア	471,925	94.9	623,707	91.1	831,520	80.5
北米	2,889	0.6	33,113	4.8	69,399	6.7
欧州	22,437	4.5	27,657	4.1	37,782	3.7
その他	—	—	—	—	94,346	9.1
輸出販売高合計	497,252 (28.9%)	100.0	684,478 (33.3%)	100.0	1,033,048 (33.1%)	100.0

(注) () 内は総販売実績に対する輸出販売高の割合です。